

域学共創プロジェクトG「ケア機能のあるまちづくりー世代間交流プロジェクトー」

2022年 地域高齢者サロン

看護学部 1年 深田妃色、兵後茜、保坂明日那、担当教員：丸山先生、井上先生

<活動の目的>

学生が地域住民主体に「通いの場」を運営しているメンバーの方々とコロナ禍で減った学生との相互交流（「高齢者サロン」）をとおして、学生自ら主体的に考えて行動し、新しい自己の視点を発見するとともに地域で暮らす高齢者の理解を深め、サロン参加者と学生と相互にケアし合う世代間相互依存関係を育む新たなまちづくりを考えることを目的とする。

<活動内容>

日時		開催場所	参加者 (サロン参加者、学生（教員）、東金市職員)	活動内容
第1回	6月21日	田中地区 長寿会	参加者13名 学生3名（教員1名）	 - 参加者全員で自己紹介 - 実施内容の検討
第2回	7月5日		参加者10名 学生3名（教員1名）	 - 頭の体操（クイズ） - 学生考案手作りけん玉（楽しく仲間と身体を動かし、自らの開花させる「紙コップけん玉」）
第3回	9月20日		台風接近のため中止	
第4回	10月12日		参加者12名 学生3名（教員2名） 東金市高齢者支援課職員1名	 - 軽めの体操 【学生考案手作秋祭り】 ・輪投げ ・手作り射的 ・手作り金魚すくい
第1回	10月12日	下武射田地区 凧の会	参加者14名 学生3名（教員2名） 東金市高齢者支援課職員1名、 東金市地域包括支援センター職員2名	 ロコモ体操・介護予防体操を一緒に実施 参加の皆さんと意見交流



<学生の学び>

- 参加者同士気遣い、身体をよく動かしていることがわかった。
- 高齢者の方々は学生が思っている以上に様々なことに興味があり、活動的に過ごしている。
- 高齢者の方々が私たち若者に何を求めているのか活動を通して知ることができた。学生が考えた企画の意図を汲み取って協力してくださった。